

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		地域・社会の求める人材を養成する大学等連携事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成20年度・平成23年度		担当課室	大学振興課大学改革推進室		大学振興課長 池田 貴城		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-		関係する計画、 通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) 「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日中央教育審議会答申) 「中長期的な大学教育の在り方に関する第一次報告」(平成21年6月15日中央教育審議会大学分科会)・「中長期的な大学教育の在り方に関する第三次報告」(平成22年1月29日中央教育審議会大学分科会)・「第5期・中央教育審議会大学分科会の審議経過と更に検討すべき課題について」(平成23年1月19日中央教育審議会大学分科会)・「中央教育審議会大学分科会のこれまでの主な論点について」(平成23年8月24日中央教育審議会大学分科会)・「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ(審議まとめ)」(平成24年3月26日中央教育審議会大学分科会大学教育部会)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)		国公立の大学・短期大学・高等専門学校との積極的な連携を推進し、個々の大学の限られた教育研究資源の重点化及び連携による強みの結集を行うことで、大学全体としての教育力の充実を図り、地域における人材育成、地域の生涯学習の拠点、地域課題対応等の多様な高等教育需要に応える。							
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)		<p>大学、短期大学、高等専門学校が国公立を通じた競争的な環境の中で、以下の内容を踏まえて連携し、地域における人材育成や教育の質保証を行う取組を支援する。(定額補助:100/100)</p> <p>○選定された大学は、国の財政支援期間終了後その成果を基に取組を継続することが条件。</p> <p>○連携する大学等間で概ね10年程度を見通した将来目標や連携効果を含めた計画を策定させ、将来目標、取組の有効性を確認し、実現可能性の高い取組を選定。</p> <p>○地域と一体となった人材育成を推進するため、大学等以外に地方自治体及び経済団体等と積極的な連携を図ることとしている。</p> <p>○継続課題の終了する平成23年度をもって、支援を終了する。</p>							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	6,017	4,808	2,120	-	-	
			補正予算	0	0	0	-	-	
			繰越し等	0	-14	14	-	-	
		計		6,017	4,794	2,134	-	-	
		執行額		5,965	4,789	1,978	-	-	
執行率(%)		99.1%	99.9%	92.7%	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
		全国大学コンソーシアムに加盟している大学等の数		成果実績	大学	738	780	788	-
				達成度	%	-	-	-	-
		交流協定に基づく単位互換制度を実施している大学(全国)		成果実績	大学	577	調査中	調査中	-
				達成度	%	78%	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		新規選定件数		活動実績 (当初見込み)	大学	38	0 (0)	0 (0)	- (-)
		本事業に参加した大学等の数		活動実績 (当初見込み)	大学	467	469 (-)	469 (469)	- (-)
		単位互換実施大学数(選定校)		活動実績 (当初見込み)	大学	173	調査中 (-)	調査中 (-)	- (-)
		単位互換受講者数(選定校)		活動実績 (当初見込み)	人	3,632	調査中 (-)	調査中 (-)	- (-)
		社会人を対象とした教育プログラム(選定校)		活動実績 (当初見込み)	件	454	調査中 (-)	調査中 (-)	- (-)
単位当たり コスト		51,814千(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =23年度執行額(1,968,916千円)÷23年度取組実施件数(38件)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計								

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・教育振興基本計画及び中央教育審議会答申等において、1大学だけでは実現困難な課題に対して複数大学が連携・共同した取組について支援する必要性が示されており、国が実施すべき優先度が高い事業である。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・本事業は、公募した上で、有識者からなる委員会による公平な審査を経て選定しており、その妥当性や競争性を確保している。 ・補助金を交付する際は、事業経費の費目・用途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成23年度は単価を縮減して実施した。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・国公立大学を通じた競争的環境の下、国公立を超越、大学の力を集結させた教育の充実と地域活性化を推進する取組を選定・支援しているため、実効性の高い事業となっている。 ・本事業により、全国各地で大学間連携の強化や大学コンソーシアムの形成が一層進展した(コンソーシアム加盟校:720校(H20)→788校(H23))。 ・本事業に参加した大学等の数は増加の上、一定の規模を維持しており、活動実績は当初の見込みに沿ったものである。 ・各大学で積極的に成果の情報発信を行っており、他大学への波及効果が認められる。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名		—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・地域における人材養成、地域の生涯学習の拠点、地域課題対応等の多様な需要に、個々の大学に限られた教育研究資源の中で応えることが困難な状況である中、本事業により国公立を超越、大学の力を結集した教育の充実と地域活性化が促進された。</p> <p>・取組の成果は実績報告書や各大学の情報発信等により把握しているが、成果の検証方法等については今後有識者の意見等を踏まえ検討する予定。</p> <p>・継続課題の終了する平成23年度をもって、本事業の支援を終了する。</p>			
予算監視・効率化チームの所見				
<p>本事業は、過去の事業仕分けの評価を踏まえ、平成23年度をもって廃止している。</p>				
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
<p>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <p>【事業仕分け第1弾】 <事業番号・事業名> 3-52 大学の先端的取り組み(1)グローバルCOEプログラム、(2)組織的な大学院教育改革推進プログラム、(3)国際化拠点整備事業(グローバル30)、(4)大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム、(5)大学教育・学生支援推進事業 <WGの評価結果> 予算要求の縮減 <とりまとめコメント> 国際化拠点整備事業(グローバル30)、大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム及び大学教育・学生支援推進事業については、廃止4名、予算計上見送り2名、予算要求通り2名、予算要求の縮減6名(半額2名、1/3縮減1名、その他3名)であり、かなりばらつきが大きい。WGとしては、予算要求の縮減と結論する。そもそも大学の本務としてやるべきだという意見、結果・効果が不明だという意見、学生の雇用に関する課題は重要だという指摘も複数あった。</p> <p>【事業仕分け第3弾】 <事業番号・事業名> A-26 大学関係事業(その2)・(1)大学教育質向上推進事業(大学教育・学生支援推進事業)、(2)大学生の就業力育成支援事業、(3)地域・社会の求める人材を養成する大学等連携事業(大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム) <WGの評価結果> 廃止 <とりまとめコメント> いずれの事業も本来、大学の業務であり、このような補助を行うことは認められない。3事業とも廃止と結論とする。継続事業についても相当メリハリをつけ、踏み込んで、早期に廃止していただきたい。</p> <p>【ホームページ】 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/senryaku2.htm</p>				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0166	平成23年行政事業レビュー	0144	

地域・社会が求める人材を養成する大学等連携事業

文部科学省
1,978百万円

・職員旅費:0.4百万円
・委員等旅費:0.1百万円
を含む。

各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、教育活動の質保証、個性・特色の明確化に伴う機能別分化と相互補完、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図る取組を選定・支援

【補助】

A. 大学、短大、高専(全38機関)
1,977百万円

複数大学が連携し教育研究資源を有効活用することにより、大学教育の充実や地域で活躍する人材の養成を図る取組を実施

【分担金】

B. 連携大学(全173機関)
969百万円

代表校と連携し、取組を共同で実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

(広島大学のケース)

文部科学省
1,978百万円

【補助】

A. 代表校:広島大学
71百万円

広島県に密着した医療系、情報系、工学系3大学異分野連携により、医療系の知識を有した情報系・工学系技術者及び情報工学系知識を有した高度医療人を育成する。

【分担金】

B-1. 連携大学: 広島市立大学 23百万円	連携大学: 広島工業大学 23百万円
-------------------------------	--------------------------

代表校と連携し、取組を共同で実施。

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.広島大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	連携2大学への分担金	46			
人件費	特任教員、事務職員2名	16			
物品購入費	口腔機能検査装置、実験材料・器具	6			
その他	旅費、システム保守料、報告書印刷	3			
計		71	計		0
B-1.広島市立大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	特任教員3名	16			
物品購入費	教材 等	5			
その他	旅費、リーフレット印刷、HP作成	2			
計		23	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.地域・社会の求める人材を養成する大学等連携事業

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島大学	医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成	71	-	-
1	東北福祉大学	防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開	71	-	-
1	横浜国立大学	横浜文化創造都市スクールを核とした都市デザイン／都市文化の担い手育成事業	71	-	-
1	帝塚山大学	北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクト	71	-	-
1	徳島文理大学	教員養成コンソーシアム四国	71	-	-
1	福岡県立大学	看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想	71	-	-
1	仙台高等専門学校	超広域連携に立脚した高専版組込みスキル標準の開発と実践	71	-	-
1	東京理科大学	大学連携による6年制薬学教育を事例とした標準的な基盤教育プログラムの開発	71	-	-
1	北陸先端科学技術大学院大学	実践的な人材育成のための医療サービスサイエンス教育プログラムの開発	71	-	-
2	福島大学	「高等教育コンソーシアムふくしま」の構築による広域連携型学士力向上プログラム	71	-	-

B.連携大学

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島市立大学	医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成	23	-	-
1	広島工業大学	〃	23	-	-